

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

<21週> 咽頭熱結膜 例年より早いペースで定点当たり報告数が増加 / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

<手足口病流行状況> 第20、21週と患者報告数が急増している
<麻疹流行状況> 第21週の報告患者総数は902で、定点当たり報告数は0.3



病原体情報
P.5

患者から分離されたウイルス検出報告 感染性胃腸炎・SRSVおよびロタウイルス / 咽頭結膜熱 / 流行性角結膜炎 / 手足口病



IASRからの速報
P.6-7

ホタルイカ生食を原因とする旋尾線虫幼虫移行症の発生状況 / 他



海外感染症情報
P.8

アイルランド共和国で麻疹の流行 / メジナ虫症の根絶にむけて - 現在の状況



感染症の話
P.9-11

VRE
バイコマイシン耐性腸球菌は病原性は非常に弱いですが、術後患者や感染防御機能の低下した患者は注意が必要



読者のコーナー
P.12



グラフ総覧(21週)
P.13-19

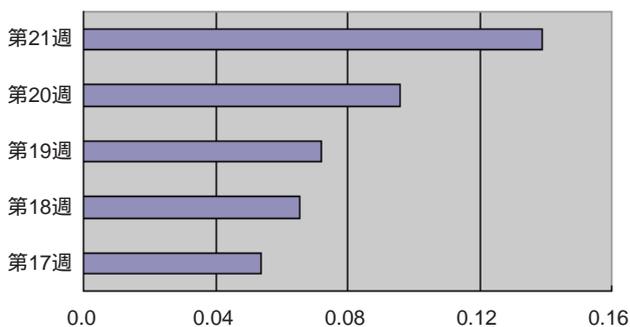


21週のデータ
P.20-27

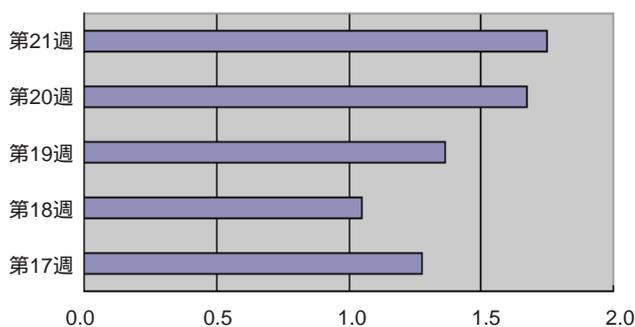
最近の注目疾患-5週間の動き

咽頭結膜熱の定点当たり報告数はこここのところ毎週増加している。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は連休中に一時定点当たり報告数が減少したが、ここ3週は前週を上回っている。水痘の連休明けの定点当たり報告数は2.5~3で推移している。麻疹と流行性角結膜炎は連休明けに一時定点当たり報告数が増加したが、その後減少傾向にある。

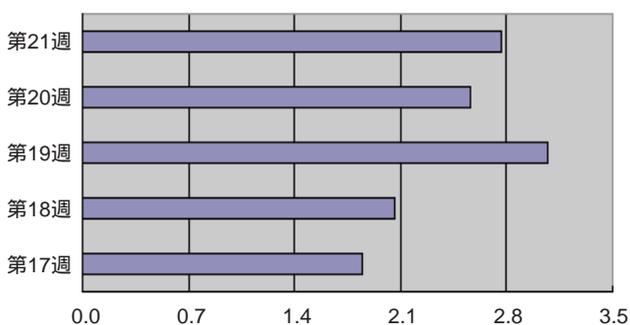
咽頭結膜熱



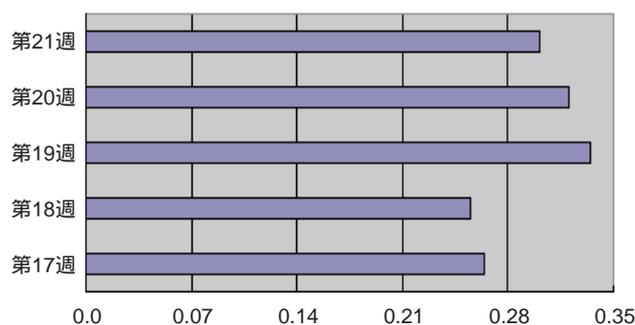
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



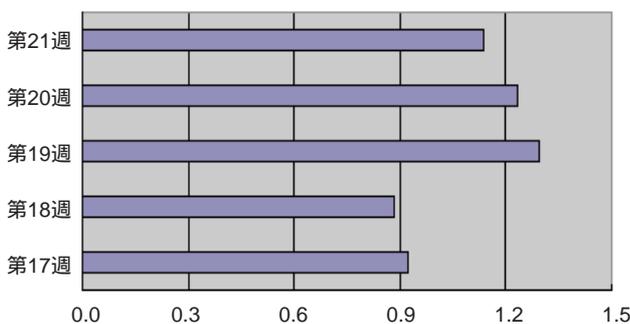
水痘



麻疹



流行性角結膜炎



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



注目すべき感染症

手足口病流行状況

手足口病は夏季に幼児を中心に流行する急性ウイルス性感染症で、患者の半数は2歳以下である。病名どおり、臨床症状は口腔粘膜及び四肢末端の水疱性発疹が特徴的で診断は容易である。主な病原ウイルスは、エンテロウイルスであるコクサッキーA16型(CA16)、エンテロウイルス71型(EV71)、コクサッキーA10型(CA10)であり、毎年これらのウイルスによる流行が大なり小なりみられている。過去10年間では、1990年、1995年に比較的大きな流行が観測され、主な分離ウイルスは、'90年がEV71とCA16がほぼ同じ割合、'95年はCA16であった。

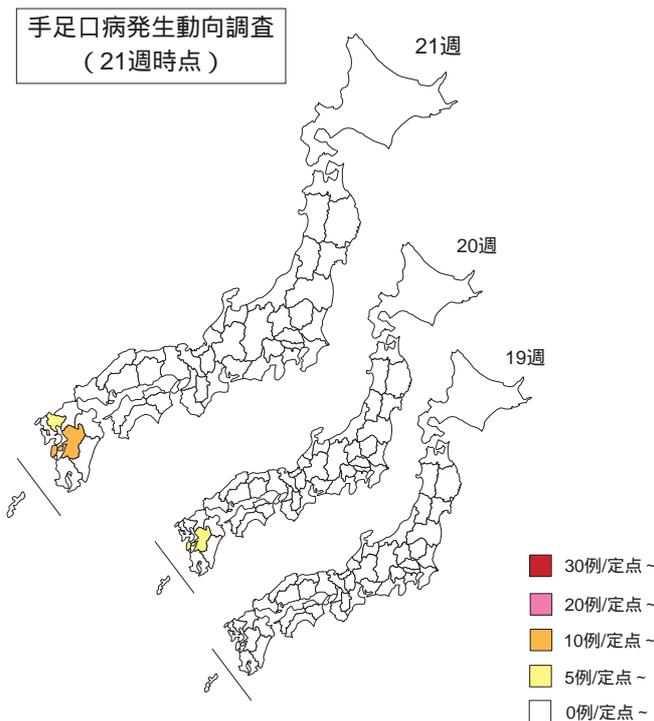
2000年は第13週ごろより流行曲線が立ち上がり始め、第20、21週と患者報告数が急増した。流行の大きかった'90年、'95年の流行曲線も第19週頃より急速に立ち上がっており、今年の流行曲線も現在のところこれらの流行年に見られたパターンに近く、今後疾患の動向に注意が必要である。

第21週(5月22日 ~ 5月28日)の、全国定点医療機関からの手足口病報告患者総数は2,791で、定点当たり報告数は0.93であった。定点当たり報告数が多いのは、熊本県(定点当たり報告数13.6)、佐賀県(5.9)、奈良県(3.7)、鹿児島県(3.2)などで、その他群馬県、和歌山県、長崎県などでも既に患者数の増加が観測されている。

熊本県では手足口病の流行に伴って無菌性髄膜炎患者の報告も増加している。第21週の全国の無菌性髄膜炎患者報告総数は30で、そのうち18例が熊本県からの報告であった。

病原体報告によると、無菌性髄膜炎から分離されたウイルスは第21週ではEV71が最も多く15件であった。また、病原体検出情報事務局に入った情報によると、熊本県の手足口病患者及び無菌性髄膜炎患者からEV71が分離されているという。(感染症情報センターホームページ・IASR速報記事参照)

手足口病は通常予後良好な疾患であるが、EV71は他のウイルスより中枢神経系の合併症の発症率が高いことが知られている。



麻疹流行状況

2000年第21週(5月22日 ~ 5月28日)の、全国定点医療機関からの麻疹報告患者総数は902で、定点当たり報告数は0.3であった。2000年第1週から第21週までの累積患者数は千葉県、茨城県、栃木県などで患者報告数が多くなっている。

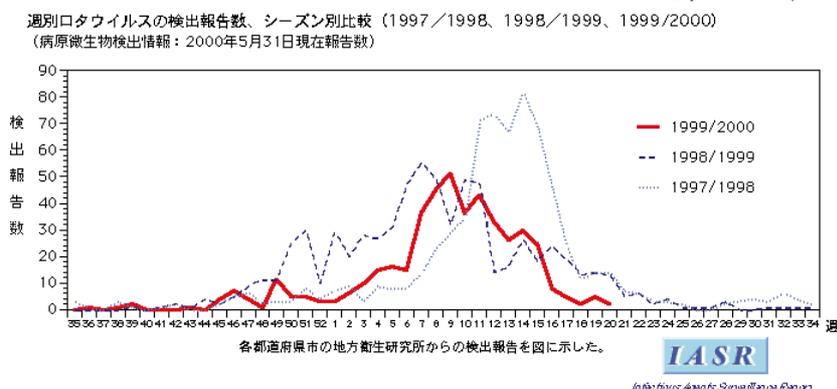
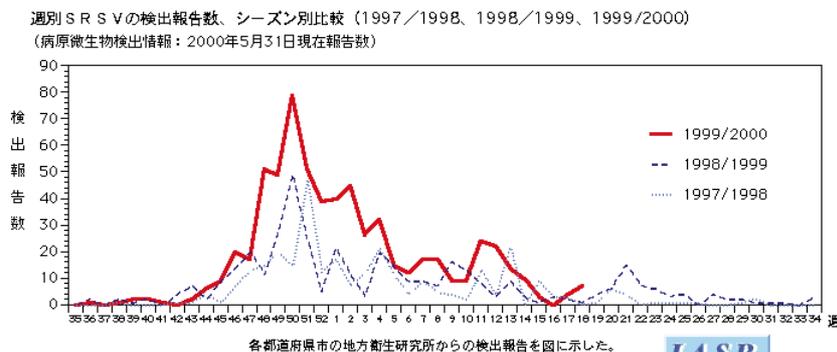


病原体情報

感染性胃腸炎 1999/2000シーズン* SRSVおよびロタウイルス 検出報告(2000年6月5日現在報告分)

今シーズンのSRSV検出総数は637件で、検出報告数は1999年第50週をピークに減少してきたが、第10週より再びわずかな増加を示している。今シーズンのロタウイルス検出総数は460件で、現在のところ2000年第8、9週をピークとしてしばらく検出が続いている。5月以降には岩手県、新潟県、川崎市、奈良県、大阪市、北九州市からの検出報告があった。

*1999/2000シーズンは1999年第35週(8/29-9/4)から。



咽頭結膜熱患者から分離されたウイルス

2000年(2000年6月5日現在報告分)

アデノウイルス1型が川崎市(第8週)と長野県(第8週)、新潟県(第14週)からそれぞれ1件、2型は長野県(第2週)と広島市(第8週)で各1件、3型は大阪府(第3週)から1件、4型は新潟県(第5週)から1件の分離報告があった。

流行性角結膜炎患者から分離されたウイルス

2000年(2000年6月5日報告分)

岡山県からアデノウイルス4型が2件(第2週、5週)とアデノウイルス37型が1件(第5週)、神奈川県(第2週)と川崎市(第5週)でアデノウイルス19型が各1件、川崎市からアデノウイルス2型が1件(第16週)の分離報告があった。

手足口病患者から分離されたウイルス

2000年(2000年6月5日現在報告分)

コクサッキーウイルスA16型が大阪市で1件(第10週)と山形県で7件(第16週: 1件、19週: 3件、20週: 3件)、エンテロウイルス71型が大阪府で2件(第6週、9週)と熊本県で2件(第13、14週)の分離報告があった。

ホタルイカ生食を原因とする旋尾線虫幼虫移行症の発生状況

ホタルイカの生食を原因とする旋尾線虫幼虫による腸閉塞や皮膚爬行症の患者発生は1987年以降であるが、この背景にはホタルイカの主産地であった富山湾から全国へ生きたままの遠隔地輸送が始まったことがあった。1994年に、ホタルイカを生食して寄生虫に感染する患者が急増しているという情報がマスコミで大きく取り上げられ、大手スーパーなどから出荷自粛を要請された富山県漁業協同組合連合会(ホタルイカ協会)では、その対策としてホタルイカを急速冷凍処理して出荷するよう決めた。その結果、1995年の患者発生は文献上全く報告がなくなり、前年までの3年間毎年10例以上あった報告数と比べて患者は激減した。これは、ホタルイカの冷凍加工処理が功を奏したのと、生ホタルイカそのものの消費が減少した結果と考えられ、旋尾線虫幼虫移行症もいずれ姿を消すかのように思われた。

しかし、1996年には我々が報告した1歳半の女児例(西日臨床・58巻4号、598-600、1997)を含め、少数ながら患者の発生が報告されるようになり、その後は症例数も年ごとに増加してきている。

今年の患者発生数は、5月26日現在、我々の教室で虫体を確認したものが4例、このほか東京都内某総合病院皮膚科で旋尾線虫幼虫が確認されたものが1例あった。虫体確認例の中には鳥取県で発症した例も含まれている。鳥取県沖では1989年から底引き網によるホタルイカ漁が始まり、1999年には190トンの漁獲量を記録しているという。ホタルイカは富山湾だけでなく、鳥取、兵庫、京都、福井、石川、新潟の各漁港にも水揚げされている。いままではホタルイカの生食などしなかったような地域からも患者発症の報告が増えることが懸念される。

旋尾線虫幼虫による前眼房内寄生も1例報告されているが、旋尾線虫幼虫移行症は腸閉塞型と皮膚爬行疹型の2型がその病型の大部分を占めている。腸閉塞型には、腸壁が肥厚して手術適応になるものと、麻痺性イレウス症状を呈し対症療法のみで軽快するものがある。いずれについてもアニサキス症と異なり、虫体が1cm×0.1mmと極めて細く小さいため、内視鏡による虫体の確認摘出は不可能である。皮膚爬行疹型についても皮膚内での幼虫の移動が顎口虫幼虫に比べて早く、外科的に摘出して病理組織学的に確認するのが困難な例が多い。そこで我々は、旋尾線虫Type X幼虫の薄切切片を抗原とする蛍光抗体法による抗体測定系を開発し、臨床応用の可能性を追究してきた。この方法で検査した患者数は1994年1例、1995年9例、1996年10例、1997年19例、1998年7例、1999年16例、2000年(5月末日現在)10例と抗体検査依頼例は増加傾向にあり、虫体検出例も今年は昨年を上回っている。ホタルイカ生食の危険性を改めて指摘したい。

東京医科歯科大学大学院国際環境寄生虫病学 赤尾信明

「生ホタルイカ」からの旋尾線虫幼虫の検出状況

ホタルイカの捕獲シーズンは毎年3月～6月であるが、非加熱の状態です食用として東京都内の大手小売店で販売されているホタルイカを、5月中に3回に分けて購入し、旋尾線虫幼虫の検査を行なった。その結果、旋尾線虫Type X幼虫が生きのまま検出されたホタルイカの数はい回目5/63(7.9%)、二回目4/63(6.3%)、三回目3/42(7.1%)であった。即ち、これらのホタルイカは、21尾を1セットとして販売されており、それぞれのセットに1尾ないし2尾の旋尾線虫感染イカが含まれていることになる。ホタルイカ生産者と小売店業者に対しては冷凍処理後の販売を繰り返し働きかけるとともに、飲食店業者および一般消費者に対してはホタルイカ生食の危険性を広く知らせることが今後とも必要である。

国立感染症研究所寄生動物部 扁形動物室・線形動物室

(病原微生物検出情報5月号-IASR vol.21 No.6, 2000-掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

アイルランド共和国で麻疹の流行

Eurosurveillance Weekly 2000年6月1日

2000年1月初め以来、アイルランド共和国のEastern Regional Health Authority(ERHA)地区で麻疹患者の大規模な増加がみられている。

2000年1月1日から5月28日までに844人の麻疹疑い例が報告された。同時期で比べると1995年から1999年では107例から152例であった。最近の麻疹の大流行は1993年4月に起こった。6~14カ月の子供が最も発症率が高く、他の年齢層よりも3倍以上も高い。患者は以前はDublin北部に集中していたが、現在Dublin南西部や隣接した州でも起こっている。

現在、101人の患者(子供)が病院に入院中で、6人が集中治療を受けており、2名が死亡している。

メジナ虫症の根絶にむけて - 現在の状況

WHO(WER) 2000年6月2日

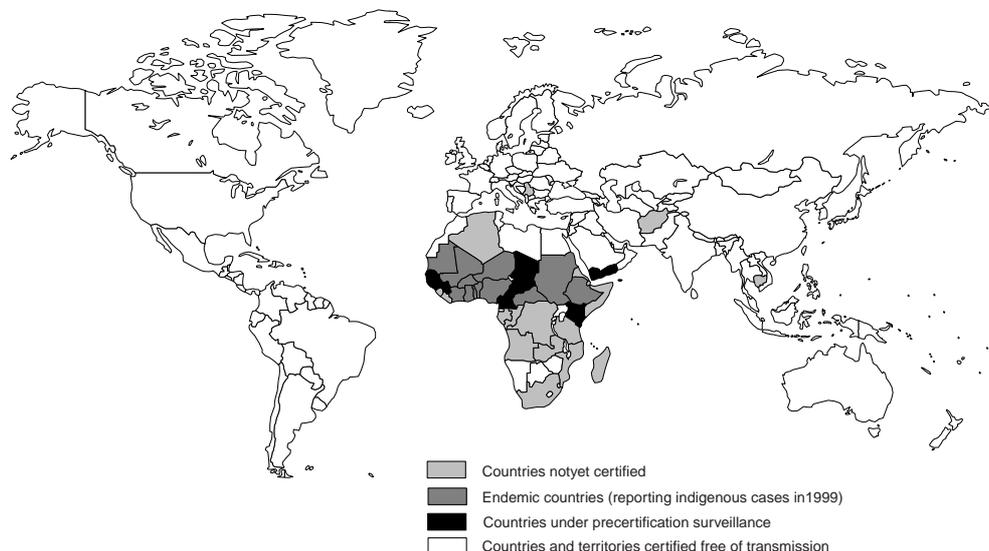
メジナ虫症根絶キャンペーンの開始時には、インドでは多くの人がメジナ虫症の危険にさらされていたが、メジナ虫根絶計画の成功により、1996年8月以来、症例の報告はない。

2000年2月にメジナ虫症根絶に関する国際委員会において、インドでのメジナ虫症の根絶が認められた。また、パキスタンでも1997年に根絶が認められた。メジナ虫症の根絶キャンペーンが宣言されてから、世界で初めてインドとパキスタンでメジナ虫症の根絶が確認された。

メジナ虫症を根絶するための努力が実ってきており、世界中での症例数は過去10年間で98%減少したばかりでなく、現在メジナ虫症の発生がなく3年間の観察期間中の国が増えている。イエメンはメジナ虫症の最後の症例を1997年に報告し、同様にセネガルは1998年に、チャドは1999年に報告している。カメルーンとケニアでは1999年に国内発生例はない。もし、これらの国において、メジナ虫症の発生がないという報告が続けば、調査団が訪れ、その報告がメジナ虫症根絶に関する国際委員会によって確認される。

メジナ虫症の発生は現在アフリカの13カ国に限定されている(地図1参照)。根絶キャンペーンはまだメジナ虫症が発生している国で徹底されなければならない、メジナ虫症の報告がなくなってもまだ根絶宣言がなされていない国は警戒状態を続けなければならない。

Map 1. Certification of dracunculiasis eradication, status as of 25 February



地図1(WERより改編)



感染症の話

(注) 今週の感染症の話は編集の都合上、前号と同じものを掲載しました。

-IDWR編集委員長-

VRE (Vancomycin Resistant Enterococci: バンコマイシン耐性腸球菌)

VRE(Vancomycin Resistant Enterococci: バンコマイシン耐性腸球菌)は、MRSA(Methicillin-resistant *Staphylococcus Aureus*)などグラム陽性菌に有効な抗生物質であるバンコマイシンに耐性を獲得した腸球菌であり、健常者に感染した場合は通常、無害、無症状であるが、術後患者や感染防御機能の低下した患者では、腹膜炎、術創感染症、肺炎、敗血症などの「感染症」を引き起こす場合があるため、欧米では、ICUや臓器移植ユニットなど易感染者を治療する部所で問題となっている。

疫学

1980年代の前半に欧州で最初に分離され、1990年代に入り欧州、米国などで急速に拡大し、現在、それらの地域では、ICUなどで分離される腸球菌の20%程度がVREと判定される事態に陥っている。一方、我が国では、これまでの分離報告例は、総数で50例に達しておらず、欧米と様相を大きく異にしている。しかも、便や尿からの分離例が大半を占め、いわゆる「定着例」と考えられる事例が殆どであり、VREによる「感染症」と判断された症例としては「子宮頸癌の術後骨盤内感染性嚢胞」などの報告があるものの、未だ少数である。

病原体

腸球菌は、健常者の腸管内や口腔、外陰部などに、多かれ少なかれ必ず常在する菌であり病原性が非常に弱い事が特徴である。したがって、VREは、バンコマイシンに耐性を獲得しているとは言っても生物学的な特徴は腸球菌と何ら変わらず、健常者に「感染症」を引き起こす事は極めて稀である。一部で「最強のバクテリア」と言った表現で一般の人々に紹介されることがあるが、この点は全くの誤解である。しかし、腸球菌の一種である *Enterococcus faecium* などは、術後の心内膜炎などの原因菌となりうる事が指摘されており、その意味では、全くの「非病原菌」ではない。

バンコマイシン耐性腸球菌の種類と特徴

クラス	耐性に関与する遺伝子	耐性遺伝子の所在	院内感染対策の必要性	耐性の誘導現象	感受性(MIC, µg/ml)		菌種
					VCM	TEIC	
A	<i>vanA</i>	plasmid	あり	あり	64 ≤	16 ≤	<i>E. faecium</i> <i>E. faecalis</i>
B	<i>vanB</i>	主に染色体 希にplasmid	あり	あり	16 ~ 64	≤ 1	<i>E. faecium</i> <i>E. faecalis</i> <i>E. gallinarum</i>
C	<i>vanC</i>	染色体	なし*	なし	4 ~ 32	≤ 1	<i>E. gallinarum</i> <i>E. casseliflavus</i> <i>E. flavescens</i>
D	<i>vanD</i>	染色体?	あり?	?	64	4	<i>E. faecium</i>

平成8年度 厚生科学特別研究事業 バンコマイシン耐性菌研究班
薬剤耐性菌対策に関する専門家会議 報告書 (平成9年3月) 表4を一部修正の上転載

*複数の患者から、頻回に分離される場合は、耐性菌の院内伝播が起きやすい状況がその背景にあることが懸念されるため、実施されている院内感染対策の基本的事項の再チェックが必要な場合もある。

VREとして臨床上問題とされ、院内感染対策の対象となっているのは、vanAまたはvanB遺伝子を保有する腸球菌である。一方、vanC型VREは、今のところ、欧米でも重篤な感染症を引き起こしたとの報告は稀であり、また、「常在菌」的性格も強く、院内感染対策の対象にはなっていない。しかし、「感染症新法」では、vanC型のVREによる重症感染症の発生状況を正確に把握するため、万一、血液や髄液など通常「無菌」的な臨床材料からvanC型VREが分離された場合には報告を求めている。

また、最近、vanD、vanE型のVREも報告されているが、臨床分離例も少なくそれらの臨床的な意義や動向は十分に把握されていない。

一方、海外から輸入されている鶏肉の一部に、VREにより汚染されているものが存在することが厚生省の調査の結果明らかとなっており、国内へのVREの流入を考えた場合、公衆衛生上無視できない現実がある。したがって、汚染鶏肉が明らかになった場合には輸出国に対し対策の申し入れなどが行われ、事態の改善が図られている。

臨床症状

VREが健常者や感染防御機構の正常な患者の腸管内に感染または定着しても、下痢や発熱などの症状を呈することは無く、無症状である。したがって、そのような場合、無症状の「保菌者」となり長期間にわたって、VREを排出し続ける事例もしばしば見られる。事実、国内の多くの分離例が、無症状者の便や尿などからの偶然の分離である。

しかし、VREによる術創感染症や腹膜炎、敗血症などの感染症の症例では、患部の発赤などの炎症所見、発熱などの全身所見など一般的な細菌感染症の症状が見られる。さらに、VREが感染するような免疫状態の患者では、MRSAや緑膿菌や大腸菌など病原性の強い他の細菌が同時に混合感染を起こしている場合も多く、それらの菌の感染症による症状が前面に出ることが多い。

病原診断

薬剤感受性試験：各医療施設において日常的に実施されている同定試験や薬剤感受性試験法により、腸球菌であって、バンコマイシンに対する判定結果が、MIC値で 16 µg/mlと判定された株が分離された場合。

PCRによる判定：バンコマイシンに耐性を示す腸球菌で、vanA、vanB遺伝子に特異的なプライマーを用いたPCR検査により、特異的なバンドが検出された場合。

disk拡散法によるVREの型別の推定方法やPCRの具体的実施方法については、<http://idsc.nih.go.jp/others/vre2.html#van> に紹介されているので、参考にされたい。

しかし、市販のVRE選択培地により分離を試みた場合、バンコマイシンに生来耐性を示す、*Leuconostoc*属、*Pediococcus*属、*Lactobacillus*属なども分離されることがあり、それらとVREとの鑑別が必要である。

治療・予防

VREが便や尿から分離されたのみで、感染症の症状を呈さない、いわゆる「定着例」と判断される症例に対しては、除菌目的の抗菌薬療法は通常行わない。

VREによる術創感染症や腹膜炎などの感染症の患者の治療は、感染巣の洗浄やドレナージ、及び抗菌薬の投与などを適宜組み合わせで行う。

抗菌薬の選択は、薬剤感受性試験結果を参考に、国内で入手が可能であり、しかも有効性が期待できる抗菌薬の中から患者の症状や基礎疾患等を考慮し、最も適切な薬剤を選択する。

また、VREと同時にMRSA、緑膿菌、大腸菌、肺炎桿菌などが分離される場合で、後者の菌が感染症状の主因と考えられる場合は、そちらの治療を優先する事も必要である。

予防手段としては、感染者または排菌者からの菌の伝播を防止する方策を第一とする。VREを排菌

している患者の介護や処置などの際に、VREにより汚染されている便や尿、ガーゼ、喀痰、膿などの処理に特に留意し、医療職員や介護者の手指や医療器具などの汚染が起きないように注意する。

VREを排菌している患者を擁する医療施設では、排菌者の隔離ではなく、VREを排菌している患者とハイリスク患者の接触をなくするようにするなどの観点からの対策が必要である。

除菌目的または予防目的の抗菌薬の「予防投薬」は行わない。

発生動向調査について

平成11年4月～平成12年5月22日までの集計分で、感染症新法に基づいて届け出られたVREは31件で、最近報告例が減少しているが、分離数の実数は必ずしも減少しているとは考えられず、欧米の状況に影響され、今後、国内分離例が増加する事は十分予想されるため、一層の警戒と対策が必要となっている。

前述の如く、国内でのVREの分離は未だ稀であり、適切な対策や行政的施策等を実施するため、その全数を把握する事が不可欠となっている。したがって、「感染症新法」ではVREの感染症症例の全例について報告義務が課せられており、さらに、便や尿から分離された「定着例」についても報告の協力が追加的に求められている。

しかし届け出をした病院が特定されるのではといったことなどに対する警戒などからか、「定着例」については、報告を見合わせる施設も少なからず存在しているようであり、新法が十分に生かされていないようである。VREの正しい状況を把握するためにはVREが検出された施設名が特定されることなどの無いよう、各段階での情報に対する管理に一層の徹底が、不可欠である。

感染症新法の中でのVRE感染症の取扱い

VRE感染症は第4類の全数把握疾患に定められており、診断した医師は7日以内に保健所に届け出る必要がある。報告のための基準は、以下の通りとなっている。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下のいずれかの方法によって病原体診断がなされたもの。

1) vanA, vanB型

病原体の検出

血液、腹水、胸水、髄液など通常は無菌的であるべき臨床検体から分離された菌(当面は、便や尿から分離されるなど定着例が疑われるものを含む)で、以下の検査室での判断基準を満たすもの

・バンコマイシン(VCM)のMIC値が 16 μg/ml、あるいは分離菌におけるvanA, vanB遺伝子の検出

なお、バンコマイシンに生来耐性を示す *Lactobacillus*, *Pediococcus*, *Leuconostoc*, *Lactococcus* などとの鑑別が必要である。

2) vanC型

報告対象

血液、腹水、胸水、髄液など通常は無菌的であるべき臨床検体から分離された菌であって、vanC型遺伝子が検出されたもの

(国立感染症研究所 細菌・血液製剤部 荒川宜親)



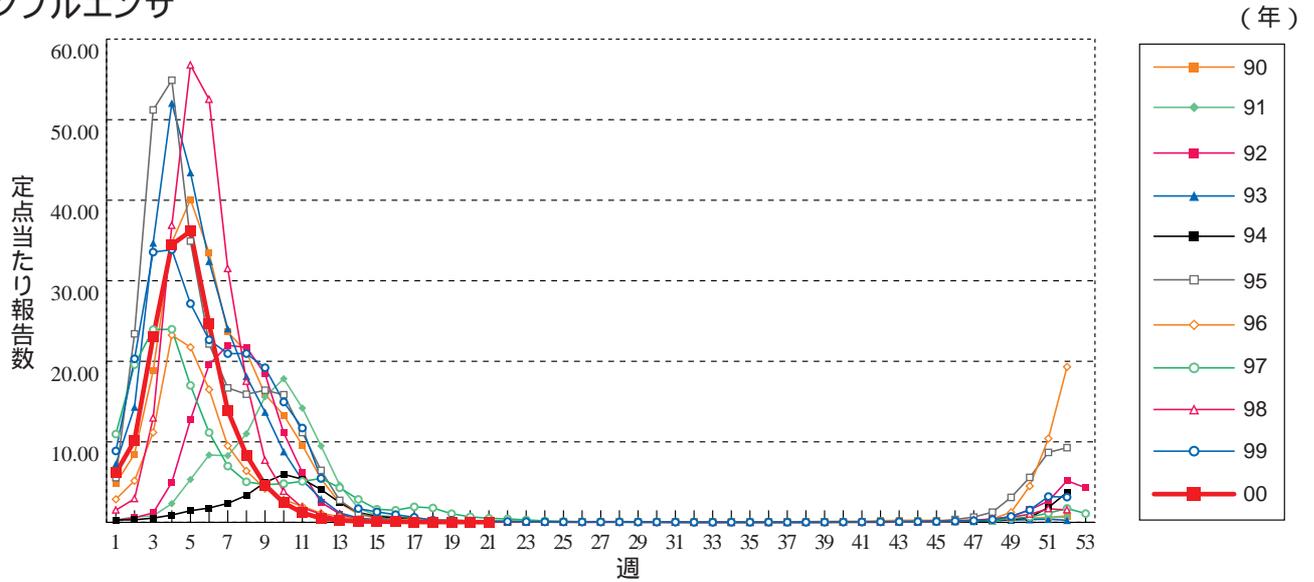
読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-QをつけてこちらまでEメールでどうぞ。

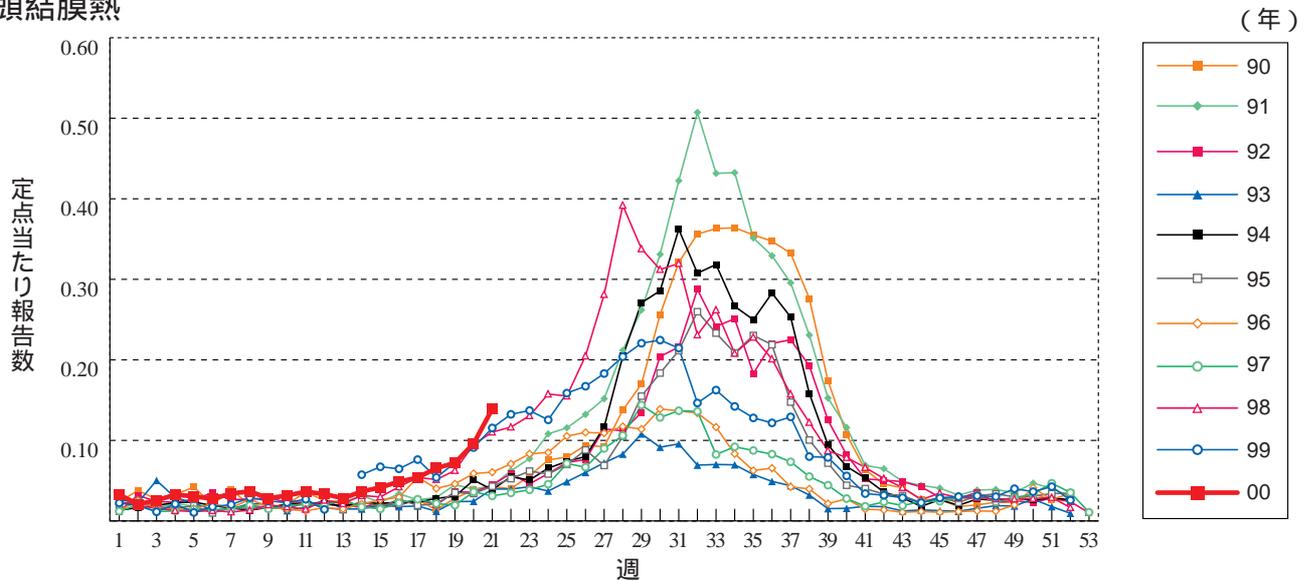
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(21週)

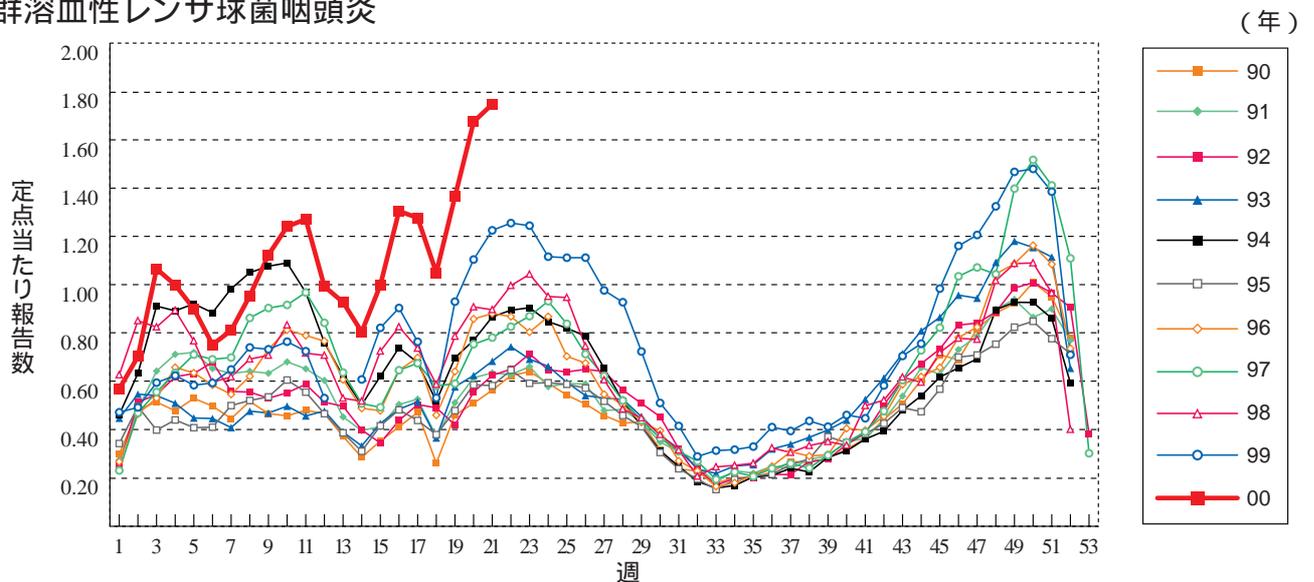
インフルエンザ



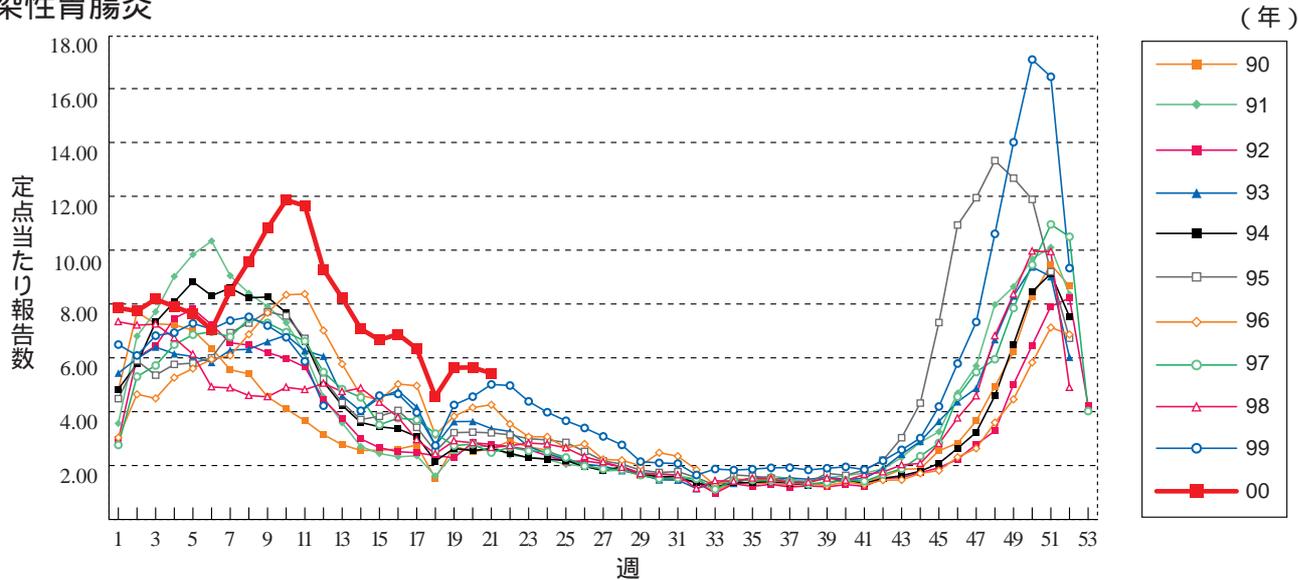
咽頭結膜熱



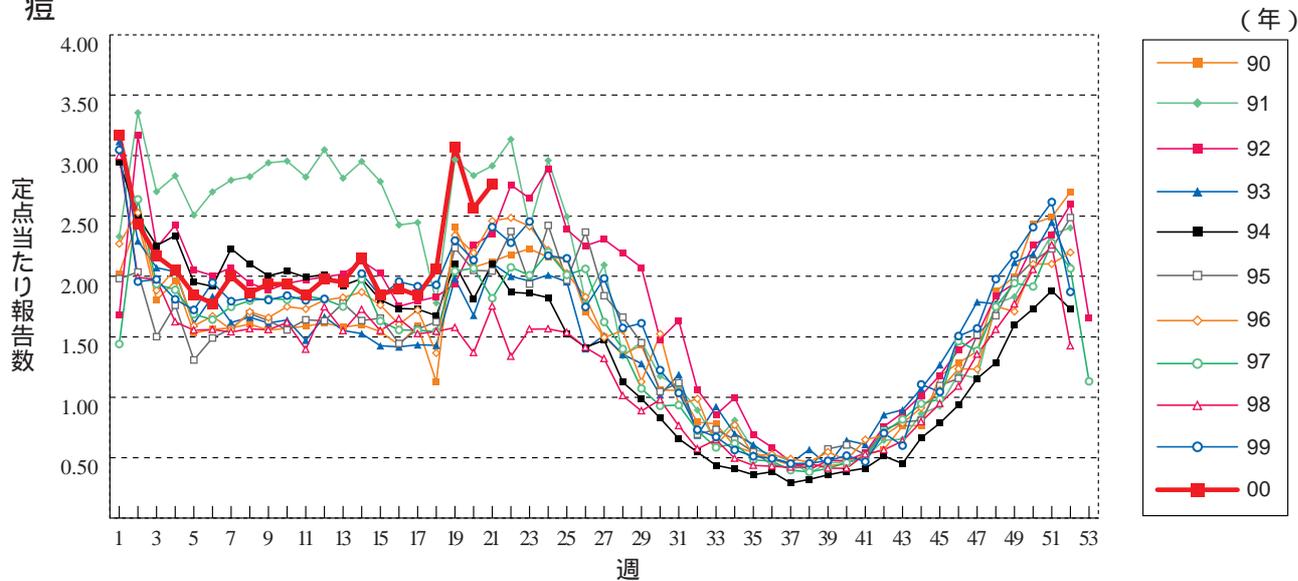
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



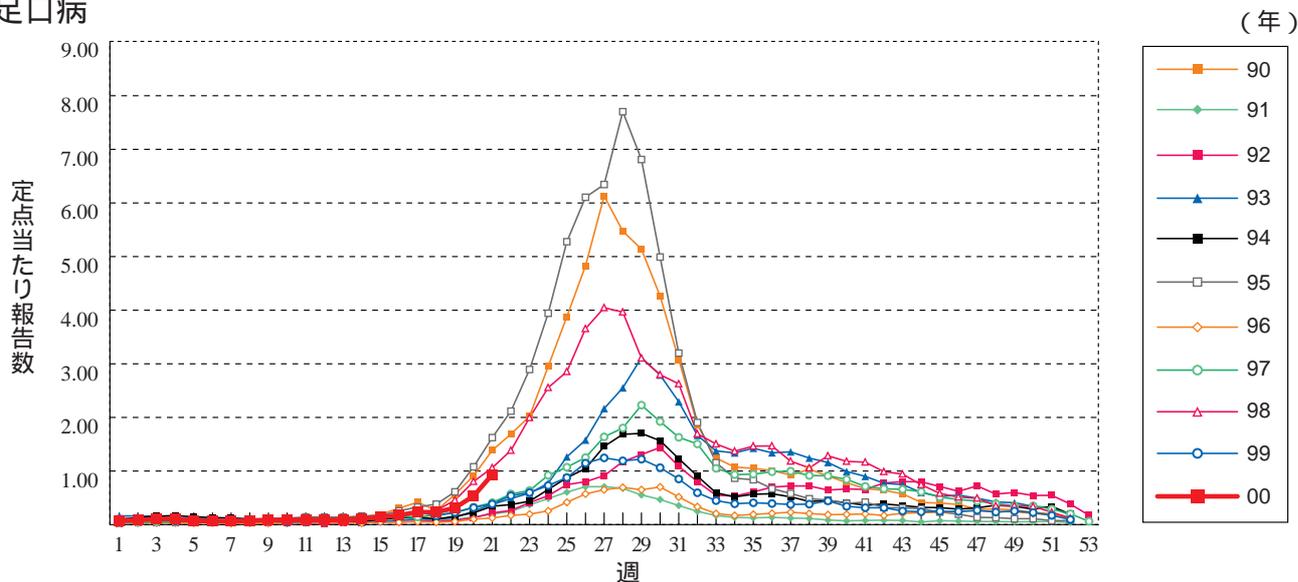
感染性胃腸炎



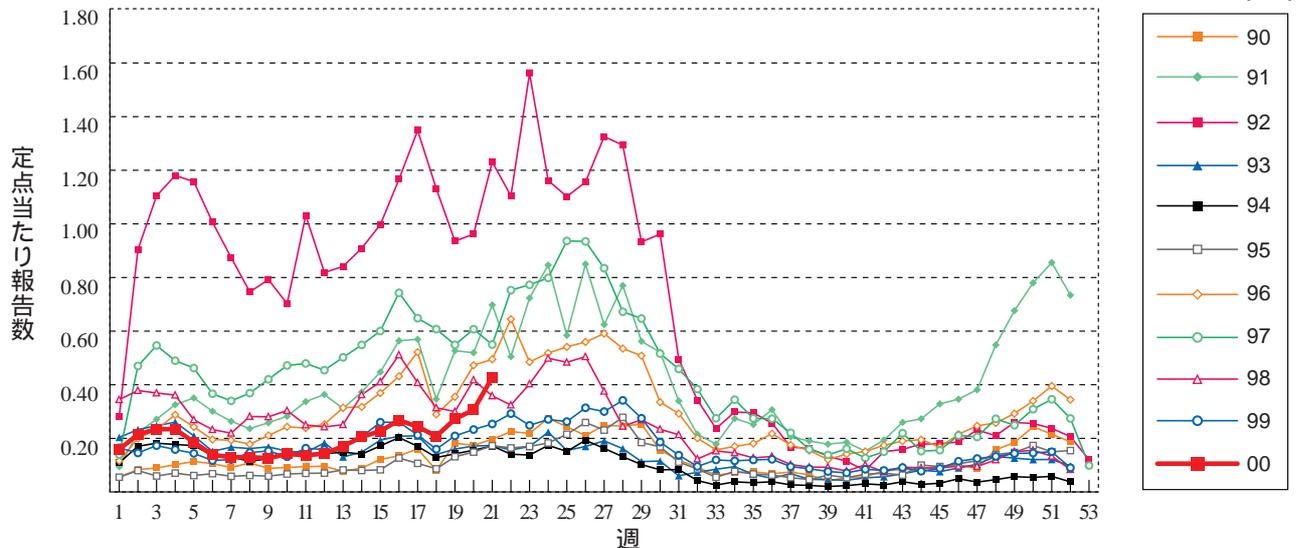
水痘



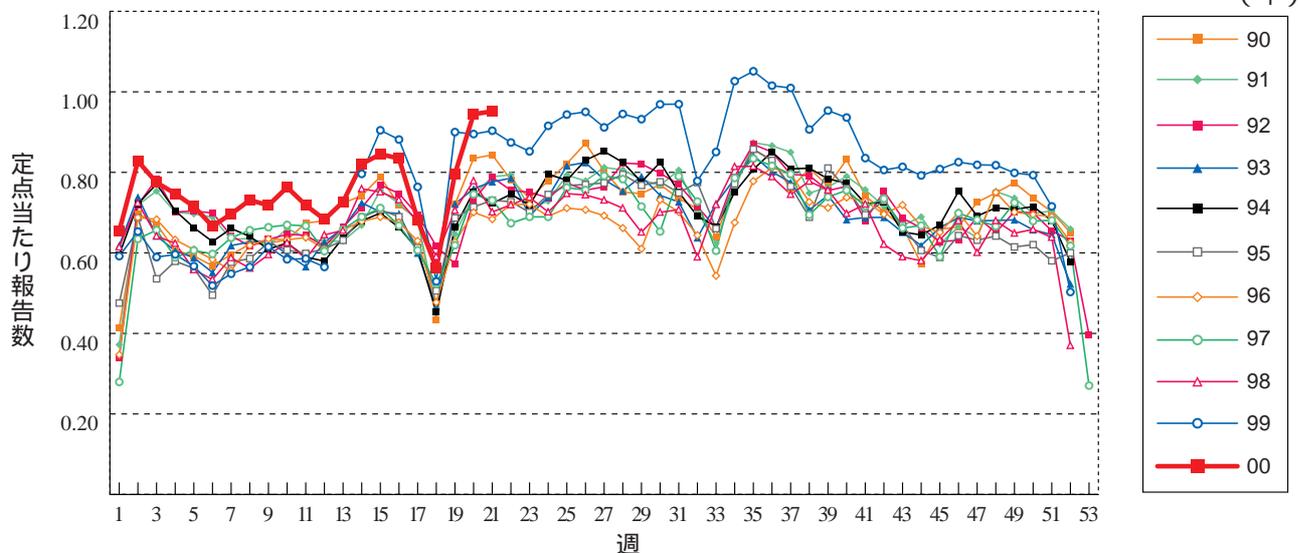
手足口病



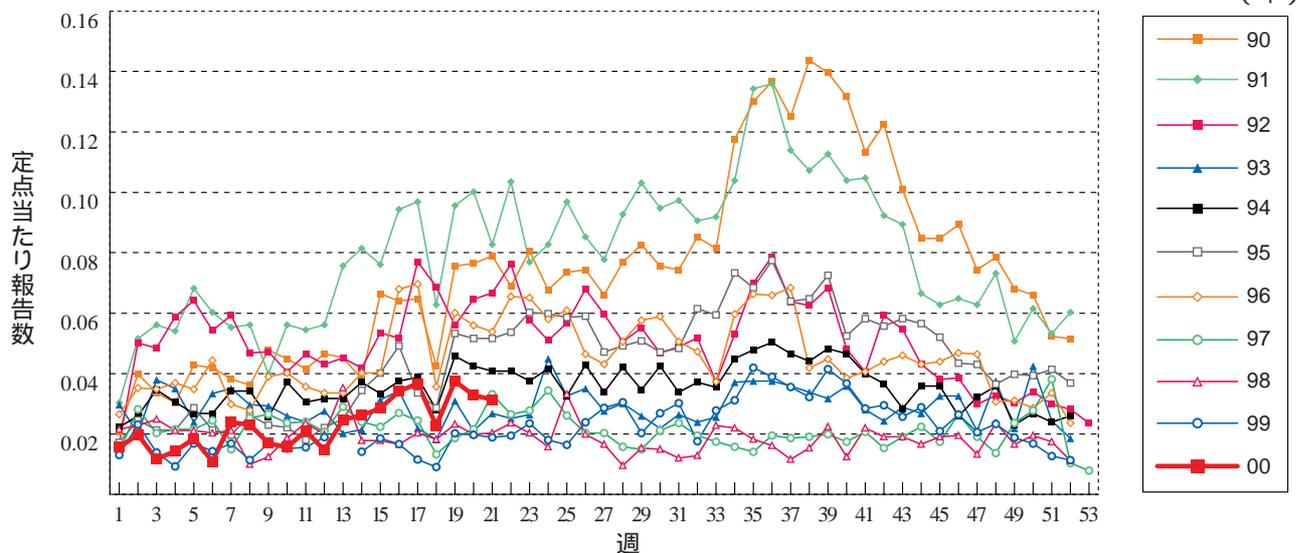
伝染性紅斑



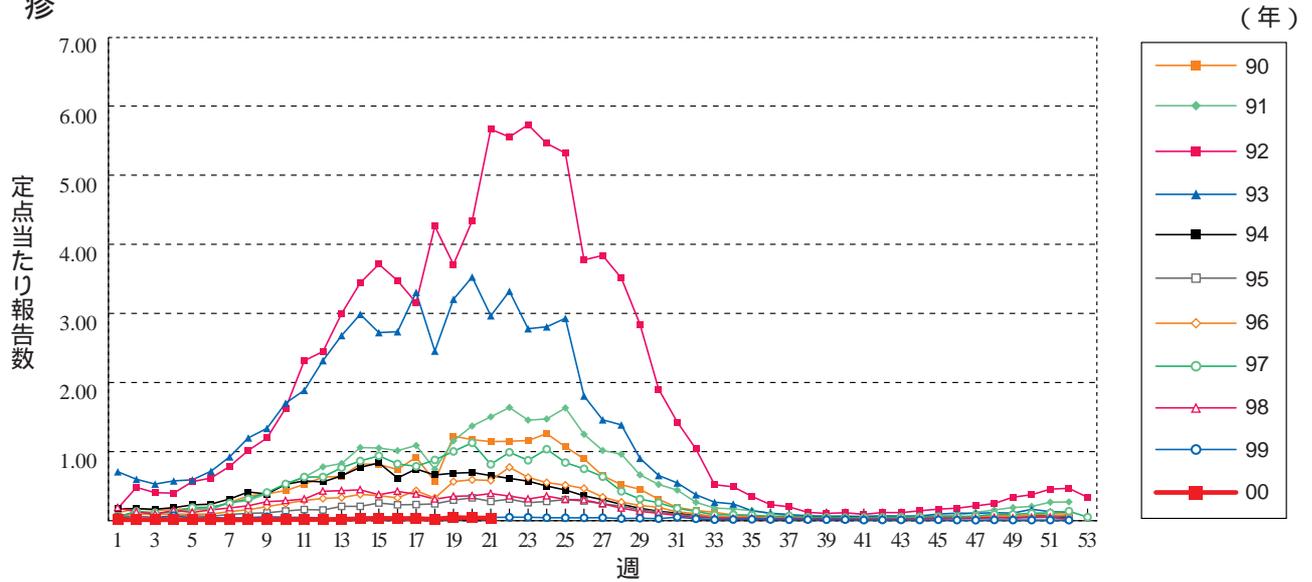
突発性発疹



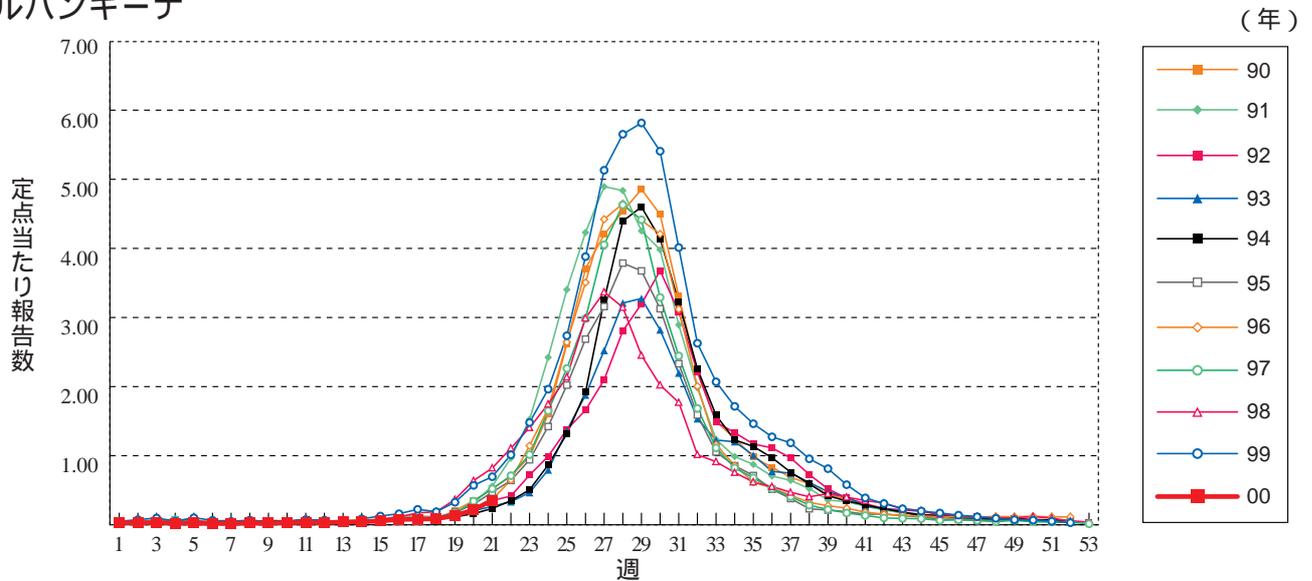
百日咳



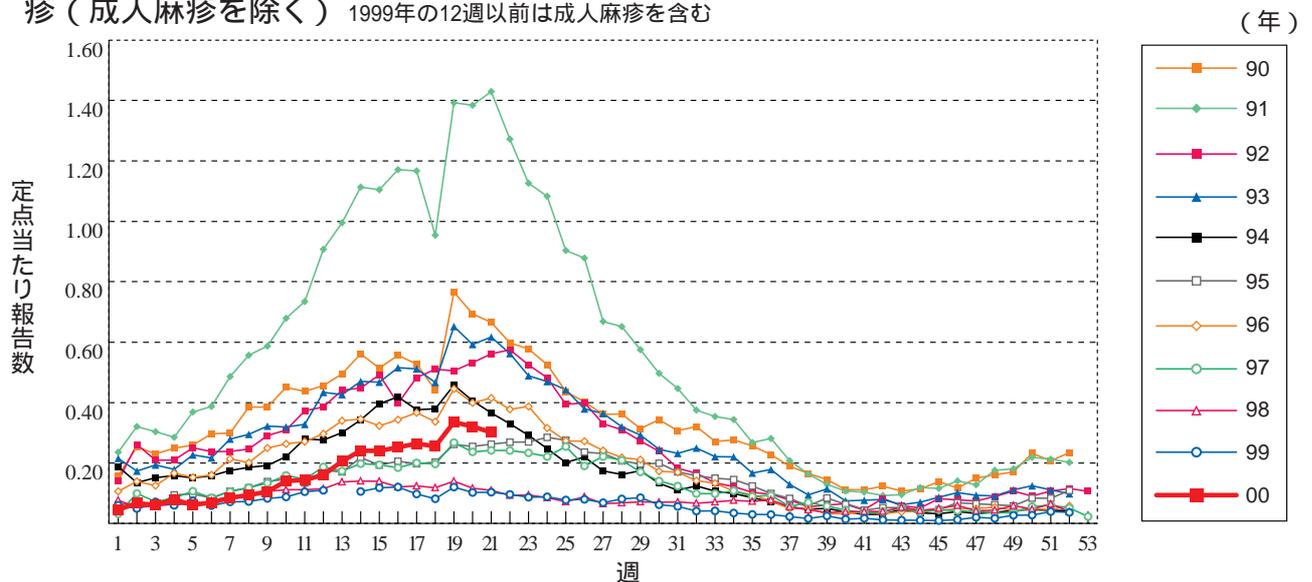
風 疹



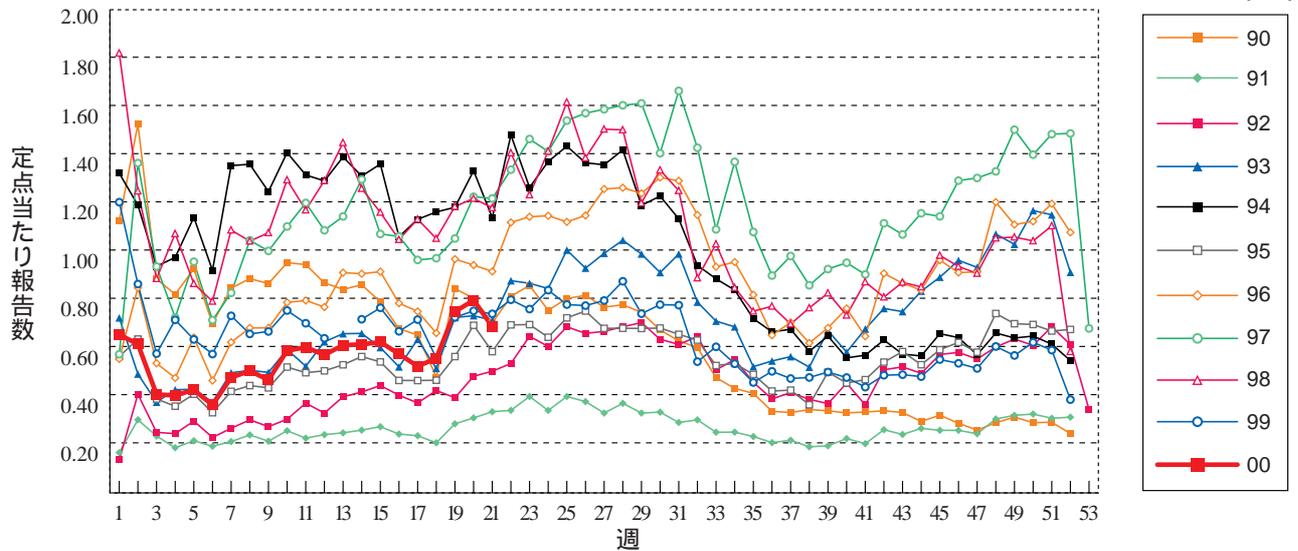
ヘルパンギーナ



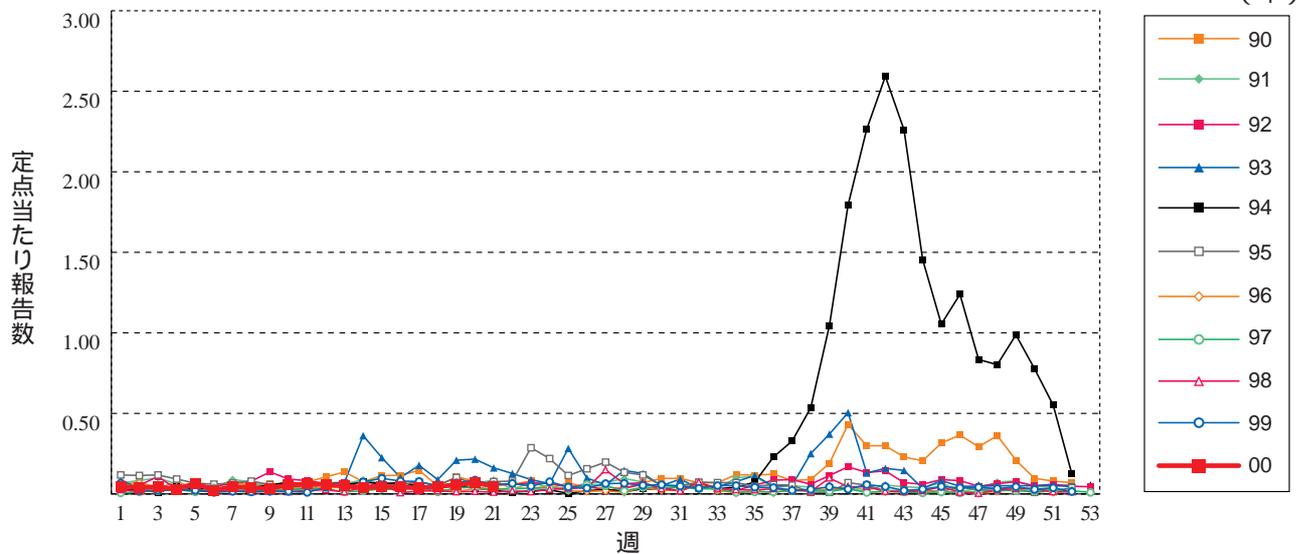
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



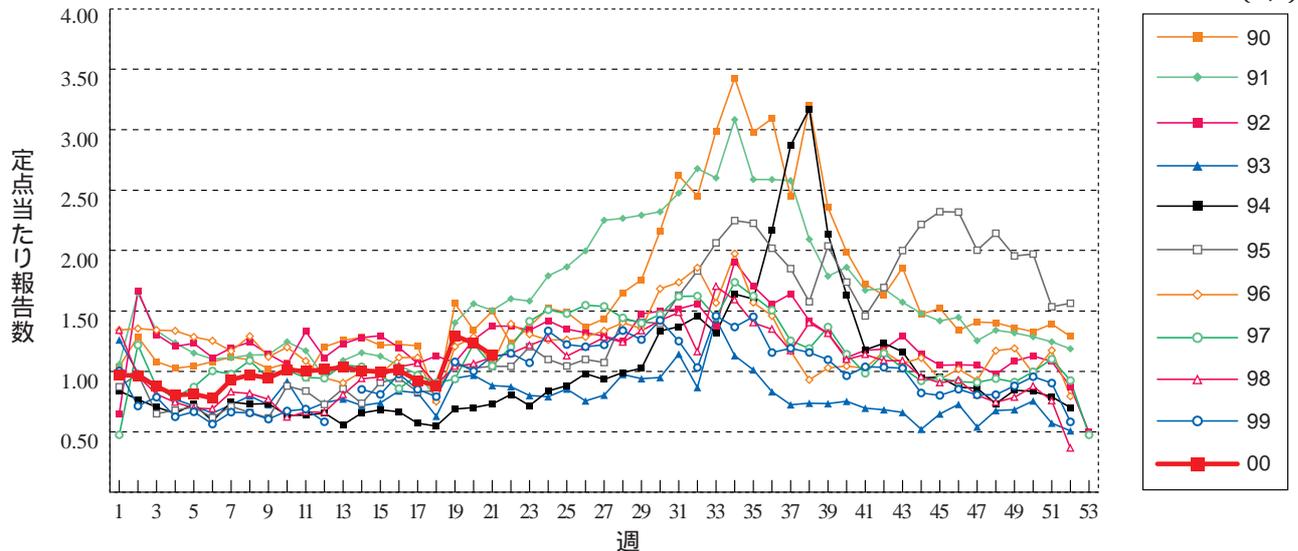
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

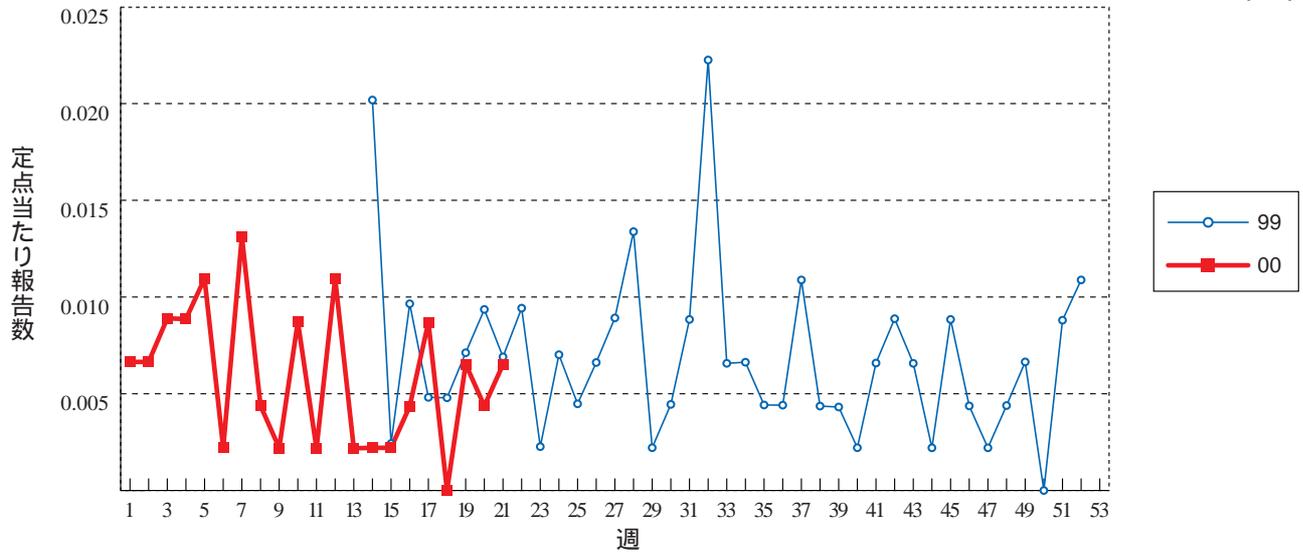


流行性角結膜炎



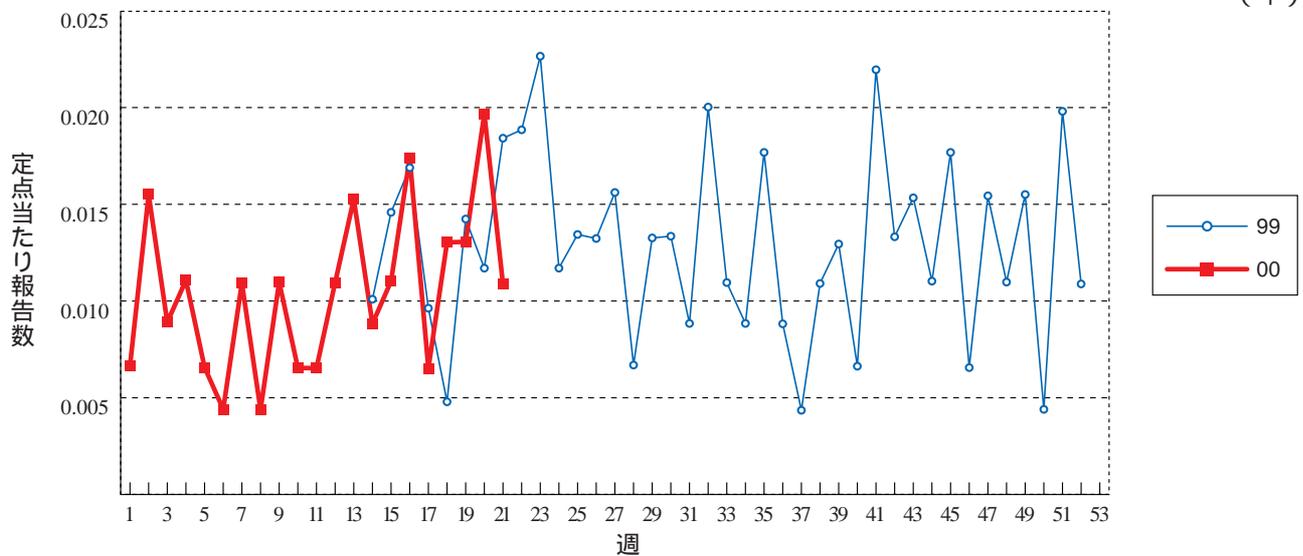
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



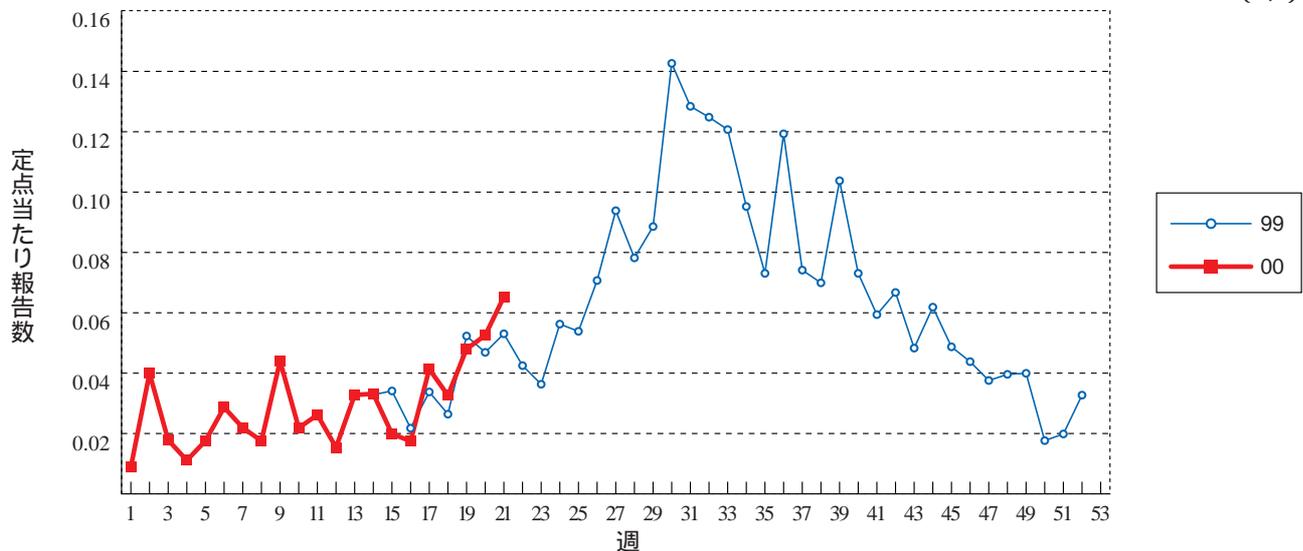
細菌性髄膜炎

(年)



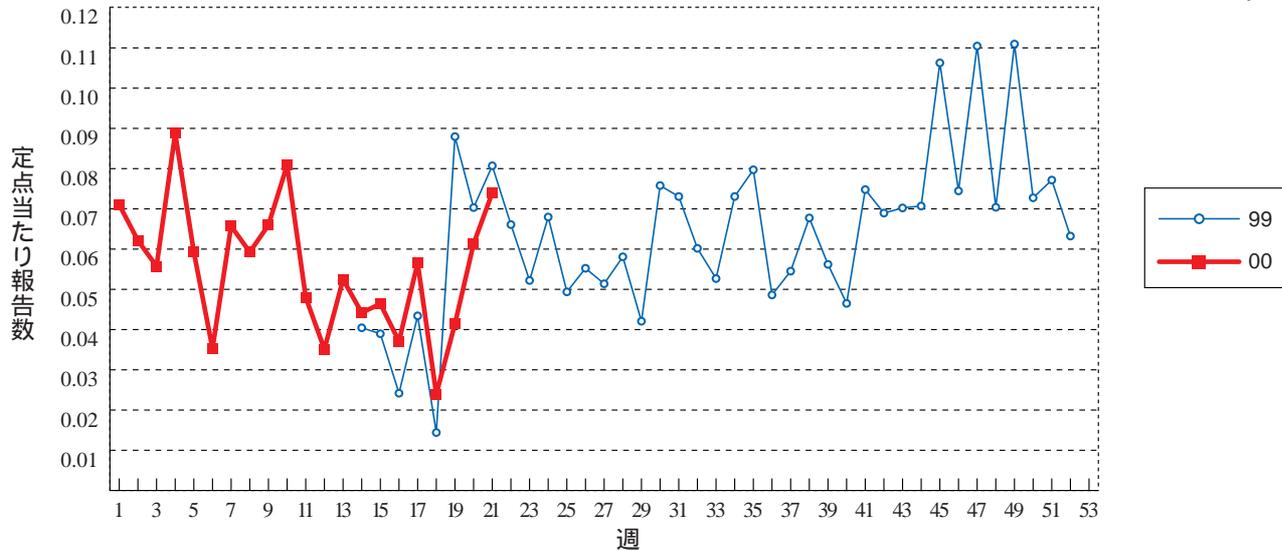
無菌性髄膜炎

(年)



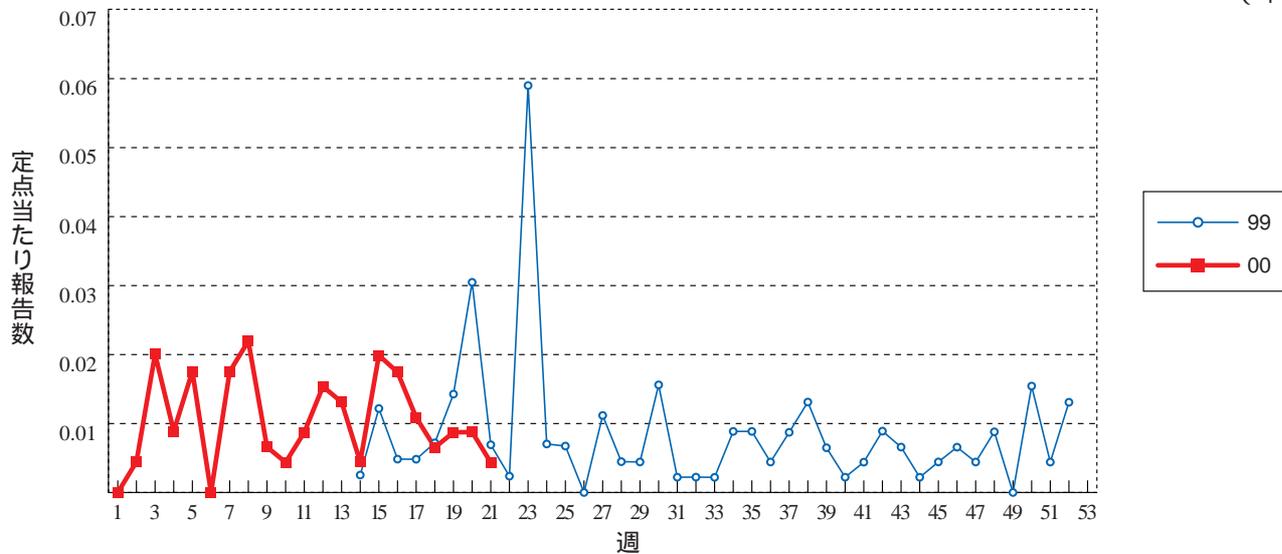
マイコプラズマ肺炎

(年)



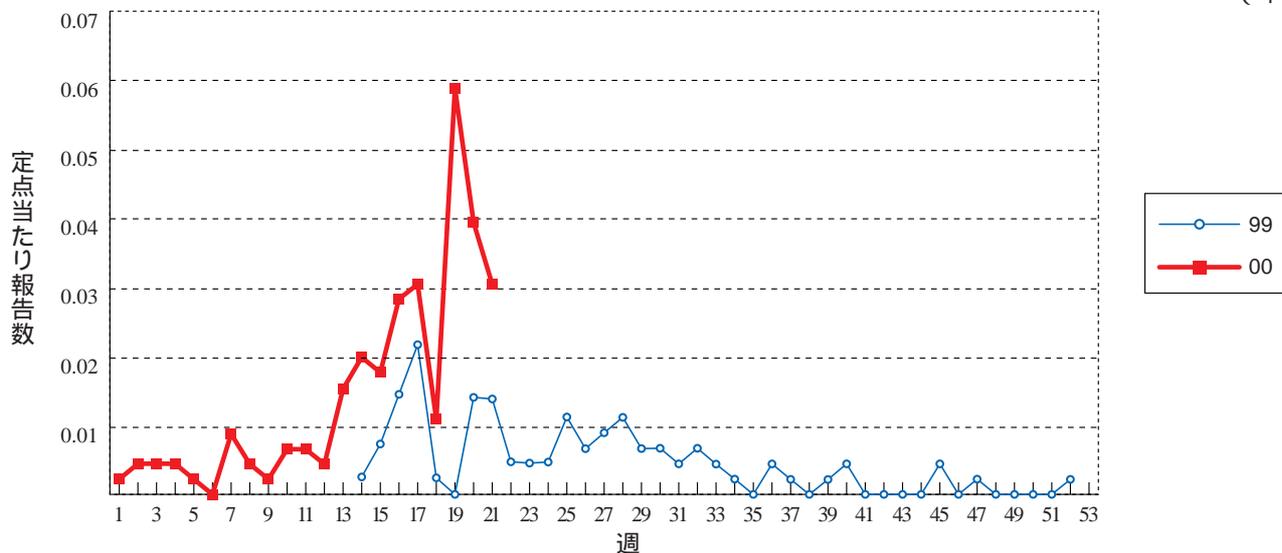
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





21週のデータ

注)表中の報告数は6月1日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年21週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	4	311	2	46	1	4		
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	1	-	-		
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-		
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-		
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-		
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-		
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-		
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	2	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-		
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-		
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	11	-	1	-	1		
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	61	-	8	1	2		
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	23	-	4	-	-		
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-		
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-		
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-		
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-		
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-		
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-		
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	26	-	3	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-		
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	9	-	1	-	-		
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	32	-	4	-	1		
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	7	-	-		
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	4	1	2	-	-		
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-		
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-		
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-		
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-		
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-		
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-		
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-		
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	14	-	1	-	-		
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-		
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	2	-	-		
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-		
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年21週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	1	46	395	4	133	-	4	-	-	1	5	-	-	8	436
北海道	-	-	-	-	5	18	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	5
青森県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岩手県	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
宮城県	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
秋田県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山形県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
茨城県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
群馬県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
埼玉県	-	-	-	-	1	8	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
千葉県	-	-	-	-	1	13	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
東京都	-	-	-	-	1	30	1	40	-	-	-	-	-	1	-	-	1	53
神奈川県	-	-	-	-	-	18	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
新潟県	-	-	-	-	1	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
福井県	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	1	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
静岡県	-	-	-	-	1	7	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
愛知県	-	-	-	-	3	24	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
三重県	-	-	-	-	2	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
滋賀県	-	-	-	-	1	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	-	9	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	17
大阪府	-	-	-	-	5	41	-	24	-	-	-	-	-	1	-	-	1	49
兵庫県	-	-	-	-	7	26	1	12	-	-	-	-	-	-	-	-	3	49
奈良県	-	-	-	-	-	8	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
和歌山県	-	-	-	-	2	17	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	10	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
広島県	-	-	-	-	1	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
山口県	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26
香川県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
愛媛県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
高知県	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
福岡県	-	-	-	-	2	40	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9
佐賀県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	6	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
大分県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
鹿児島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
沖縄県	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年21週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	6	-	-	-	2	1	38	1	23	6	260	-	1	1	38	-	-
北海道	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	-	21	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	1	15	-	-	-	4	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	2	-	19	-	-	-	2	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	4	-	1	4	96	-	1	-	6	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	17	-	-	-	6	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	5	-	-	-	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	16	-	-	1	5	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	7	-	-	-	5	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年21週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	8	-	-	-	-	11	97	-	2	-	3	-	-	-	-	15	305
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
秋田県	-	-	-	-	-	-	2	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山形県	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
千葉県	-	2	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
東京都	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	45
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
新潟県	-	-	-	-	-	-	4	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	61
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	2	9	-	-	-	1	-	-	-	-	1	2
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	29
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年21週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	2	26	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	4	75	-	2	-	62
北海道	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	2
東京都	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	28	-	-	-	2
神奈川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-
兵庫県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	4
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年21週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	117	0.03	416	0.14	5230	1.75	16301	5.45	8272	2.76	2791	0.93	1277	0.43	2848	0.95	94	0.03
北海道	8	0.03	11	0.08	208	1.43	458	3.16	345	2.38	40	0.28	80	0.55	91	0.63	-	-
青森県	6	0.09	-	-	31	0.76	75	1.83	141	3.44	11	0.27	27	0.66	31	0.76	-	-
岩手県	1	0.02	-	-	41	1.08	78	2.05	93	2.45	1	0.03	21	0.55	33	0.87	-	-
宮城県	11	0.11	3	0.05	132	2.24	403	6.83	211	3.58	1	0.02	44	0.75	71	1.20	4	0.07
秋田県	5	0.09	3	0.09	58	1.66	252	7.20	87	2.49	2	0.06	6	0.17	26	0.74	-	-
山形県	3	0.07	-	-	64	2.21	171	5.90	79	2.72	8	0.28	24	0.83	36	1.24	1	0.03
福島県	-	-	2	0.04	60	1.25	304	6.33	179	3.73	3	0.06	36	0.75	51	1.06	2	0.04
茨城県	6	0.06	1	0.01	113	1.57	291	4.04	134	1.86	33	0.46	31	0.43	44	0.61	3	0.04
栃木県	1	0.01	3	0.07	196	4.36	163	3.62	116	2.58	61	1.36	3	0.07	43	0.96	2	0.04
群馬県	-	-	-	-	199	3.21	262	4.23	196	3.16	171	2.76	14	0.23	43	0.69	4	0.06
埼玉県	3	0.01	34	0.21	466	2.93	1067	6.71	406	2.55	106	0.67	88	0.55	157	0.99	6	0.04
千葉県	2	0.01	17	0.13	399	2.98	655	4.89	450	3.36	42	0.31	118	0.88	140	1.04	3	0.02
東京都	8	0.04	11	0.08	105	0.74	582	4.10	198	1.39	43	0.30	73	0.51	74	0.52	-	-
神奈川県	17	0.05	28	0.14	398	1.93	891	4.33	522	2.53	103	0.50	209	1.01	258	1.25	1	0.00
新潟県	-	-	10	0.17	175	2.92	378	6.30	246	4.10	-	-	52	0.87	69	1.15	3	0.05
富山県	-	-	1	0.03	54	1.86	192	6.62	87	3.00	1	0.03	9	0.31	26	0.90	-	-
石川県	-	-	1	0.03	36	1.24	186	6.41	126	4.34	12	0.41	6	0.21	21	0.72	-	-
福井県	-	-	4	0.18	54	2.45	250	11.36	70	3.18	1	0.05	2	0.09	15	0.68	1	0.05
山梨県	4	0.10	-	-	32	1.28	105	4.20	41	1.64	1	0.04	13	0.52	10	0.40	-	-
長野県	-	-	6	0.12	90	1.76	368	7.22	152	2.98	1	0.02	44	0.86	59	1.16	-	-
岐阜県	4	0.05	4	0.08	133	2.51	192	3.62	165	3.11	5	0.09	4	0.08	23	0.43	1	0.02
静岡県	-	-	11	0.13	182	2.12	478	5.56	283	3.29	18	0.21	14	0.16	95	1.10	10	0.12
愛知県	-	-	33	0.18	330	1.81	843	4.63	523	2.87	48	0.26	79	0.43	181	0.99	6	0.03
三重県	-	-	4	0.09	39	0.87	376	8.36	157	3.49	47	1.04	7	0.16	66	1.47	2	0.04
滋賀県	-	-	15	0.47	35	1.09	82	2.56	75	2.34	10	0.31	-	-	19	0.59	1	0.03
京都府	7	0.06	10	0.13	85	1.13	510	6.80	184	2.45	12	0.16	14	0.19	49	0.65	2	0.03
大阪府	1	0.00	28	0.15	222	1.17	756	4.00	406	2.15	281	1.49	31	0.16	161	0.85	5	0.03
兵庫県	1	0.01	40	0.31	196	1.53	859	6.71	407	3.18	58	0.45	40	0.31	144	1.13	3	0.02
奈良県	-	-	-	-	28	0.80	211	6.03	71	2.03	131	3.74	7	0.20	36	1.03	-	-
和歌山県	1	0.02	19	0.61	28	0.90	158	5.10	96	3.10	86	2.77	5	0.16	35	1.13	2	0.06
鳥取県	-	-	3	0.16	99	5.21	255	13.42	51	2.68	14	0.74	5	0.26	31	1.63	-	-
島根県	-	-	1	0.05	14	0.64	97	4.41	56	2.55	1	0.05	2	0.09	11	0.50	1	0.05
岡山県	1	0.01	14	0.26	67	1.24	361	6.69	154	2.85	15	0.28	12	0.22	52	0.96	9	0.17
広島県	-	-	24	0.32	64	0.85	446	5.95	187	2.49	36	0.48	19	0.25	65	0.87	2	0.03
山口県	-	-	17	0.35	86	1.76	535	10.92	192	3.92	24	0.49	1	0.02	66	1.35	1	0.02
徳島県	-	-	6	0.26	21	0.91	108	4.70	61	2.65	23	1.00	2	0.09	27	1.17	4	0.17
香川県	-	-	1	0.03	39	1.22	177	5.53	80	2.50	6	0.19	8	0.25	25	0.78	1	0.03
愛媛県	-	-	19	0.49	75	1.92	451	11.56	126	3.23	54	1.38	5	0.13	39	1.00	-	-
高知県	-	-	3	0.10	54	1.74	149	4.81	89	2.87	5	0.16	2	0.06	32	1.03	2	0.06
福岡県	1	0.01	2	0.03	51	0.65	398	5.04	138	1.75	78	0.99	12	0.15	45	0.57	-	-
佐賀県	-	-	-	-	39	1.70	133	5.78	76	3.30	135	5.87	10	0.43	45	1.96	-	-
長崎県	1	0.01	1	0.02	24	0.55	168	3.82	98	2.23	115	2.61	6	0.14	35	0.80	2	0.05
熊本県	-	-	12	0.24	71	1.45	286	5.84	225	4.59	664	13.55	13	0.27	66	1.35	-	-
大分県	5	0.09	4	0.11	42	1.17	416	11.56	154	4.28	43	1.19	52	1.44	70	1.94	4	0.11
宮崎県	-	-	2	0.05	185	5.00	349	9.43	95	2.57	30	0.81	15	0.41	73	1.97	-	-
鹿児島県	17	0.17	6	0.10	79	1.32	336	5.60	150	2.50	191	3.18	7	0.12	48	0.80	6	0.10
沖縄県	3	0.05	2	0.06	31	0.91	40	1.18	94	2.76	20	0.59	5	0.15	11	0.32	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年21週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	117	0.04	1069	0.36	902	0.30	2060	0.69	30	0.05	715	1.13	3	0.01	5	0.01	30	0.07
北海道	2	0.01	6	0.04	28	0.19	104	0.72	-	-	16	0.55	-	-	-	-	-	-
青森県	1	0.02	23	0.56	6	0.15	48	1.17	-	-	7	0.64	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	32	0.84	25	0.66	24	0.63	-	-	9	0.75	-	-	-	-	1	0.05
宮城県	1	0.02	21	0.36	6	0.10	6	0.10	-	-	2	0.18	-	-	-	-	-	-
秋田県	2	0.06	7	0.20	1	0.03	10	0.29	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	4	0.14	-	-	8	0.28	-	-	9	1.13	-	-	-	-	-	-
福島県	2	0.04	18	0.38	8	0.17	29	0.60	1	0.08	23	1.92	-	-	-	-	-	-
茨城県	1	0.01	7	0.10	59	0.82	25	0.35	1	0.06	47	2.94	-	-	-	-	-	-
栃木県	3	0.07	11	0.24	41	0.91	10	0.22	-	-	23	1.92	-	-	-	-	-	-
群馬県	1	0.02	26	0.42	1	0.02	83	1.34	1	0.07	13	0.93	-	-	1	0.10	2	0.20
埼玉県	4	0.03	59	0.37	25	0.16	149	0.94	1	0.03	48	1.33	-	-	-	-	-	-
千葉県	15	0.11	43	0.32	123	0.92	102	0.76	-	-	54	1.54	-	-	-	-	-	-
東京都	7	0.05	67	0.47	28	0.20	70	0.49	-	-	12	0.86	-	-	-	-	-	-
神奈川県	7	0.03	54	0.26	37	0.18	162	0.79	2	0.05	64	1.52	-	-	-	-	-	-
新潟県	1	0.02	7	0.12	5	0.08	28	0.47	-	-	3	0.33	-	-	-	-	-	-
富山県	5	0.17	9	0.31	-	-	5	0.17	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
石川県	2	0.07	7	0.24	1	0.03	1	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	10	0.45	1	0.05	7	0.32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	1	0.04	-	-	6	0.24	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
長野県	2	0.04	20	0.39	4	0.08	27	0.53	1	0.10	19	1.90	-	-	1	0.09	1	0.09
岐阜県	-	-	31	0.58	26	0.49	40	0.75	-	-	6	0.55	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	43	0.50	19	0.22	121	1.41	-	-	19	0.90	-	-	-	-	-	-
愛知県	3	0.02	102	0.56	18	0.10	147	0.81	3	0.09	31	0.89	-	-	-	-	-	-
三重県	3	0.07	4	0.09	10	0.22	42	0.93	-	-	10	0.83	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	4	0.13	4	0.13	22	0.69	12	0.38	-	-	17	2.43	1	0.14	1	0.14	1	0.14
京都府	2	0.03	6	0.08	12	0.16	22	0.29	-	-	18	1.00	-	-	1	0.17	-	-
大阪府	9	0.05	72	0.38	187	0.99	69	0.37	3	0.06	43	0.83	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	32	0.25	38	0.30	128	1.00	4	0.11	36	1.03	-	-	-	-	1	0.07
奈良県	1	0.03	7	0.20	26	0.74	17	0.49	-	-	6	0.67	-	-	-	-	3	0.50
和歌山県	2	0.06	2	0.06	35	1.13	13	0.42	-	-	5	1.25	-	-	-	-	1	0.09
鳥取県	-	-	16	0.84	1	0.05	14	0.74	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	1	0.05	4	0.18	19	0.86	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	41	0.76	23	0.43	32	0.59	-	-	12	1.00	-	-	-	-	-	-
広島県	3	0.04	31	0.41	5	0.07	75	1.00	2	0.10	31	1.55	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	19	0.39	1	0.02	100	2.04	3	0.33	9	1.00	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	4	0.17	13	0.57	4	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	4	0.13	25	0.78	23	0.72	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	2	0.05	7	0.18	6	0.15	16	0.41	3	0.43	31	4.43	-	-	-	-	-	-
高知県	2	0.06	25	0.81	17	0.55	22	0.71	-	-	6	2.00	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	23	0.29	1	0.01	29	0.37	-	-	7	0.39	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	22	0.96	1	0.04	37	1.61	-	-	3	0.75	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	8	0.18	2	0.05	13	0.30	2	0.25	10	1.25	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	0.02	53	1.08	2	0.04	85	1.73	-	-	15	1.67	1	0.07	-	-	18	1.20
大分県	2	0.06	45	1.25	7	0.19	9	0.25	-	-	9	1.80	-	-	1	0.11	1	0.11
宮崎県	26	0.70	23	0.62	2	0.05	40	1.08	-	-	15	3.75	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	7	0.12	-	-	19	0.32	2	0.33	6	1.00	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	1	0.03	5	0.15	-	-	8	0.24	1	0.10	15	1.50	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成12年21週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	34	0.07	2	0.00	14	0.03
北海道	1	0.04	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	6	0.32	-	-	-	-
宮城県	3	0.25	1	0.08	-	-
秋田県	4	0.57	-	-	-	-
山形県	2	0.22	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	1	0.08
東京都	-	-	-	-	7	0.28
神奈川県	-	-	-	-	2	0.18
新潟県	1	0.08	-	-	-	-
富山県	1	0.20	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-
長野県	1	0.09	-	-	1	0.09
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.11	-	-	2	0.22
愛知県	3	0.23	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	1	0.14	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	1	0.09
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-
広島県	1	0.05	-	-	-	-
山口県	-	-	1	0.11	-	-
徳島県	1	0.17	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	2	0.13	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	6	0.86	-	-	-	-

感染症週報 第2巻、第21号 平成12年6月9日発行
発行：国立感染症研究所

厚生省保健医療局結核感染症課
厚生省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
T E L : 03-5285-1111
F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

< 国立感染症研究所 感染症情報センター >

<http://www.mhw.go.jp/>

< 厚生省 >

<http://www.narita-airport.or.jp/quarantine/>

< 成田空港検疫所 >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。